

P1-1 呼吸療法関連機器と設備その対策

久留米大学病院臨床工学センター
戸畑裕志

【はじめに】医療機器の使用に関するリスクマネジメントとして、次の項目を総合的に検討すべきである。

- 1) 機器自体の問題、2) 使用環境の問題、3) 使用方法の問題、4) 保守管理の問題、5) 情報の収集

特に生命維持管理装置の代表的な存在である人工呼吸器に関して使用方法のトレーニングなどについては積極的に行おうとするが、長時間適切に動作させるための保守点検に関しては、日常的、あるいは定期的に行われている施設は少ないように思われる。過去、当院でも人工呼吸器使用に関するトラブルが多々発生していた。当院では、平成10年4月に、医療機器の安全管理・有効利用および人材（臨床工学技士）の有効利用を目的として臨床工学センターが組織化され、その一環として平成11年8月より人工呼吸器を貸出方式による一括管理を開始した。中央管理することで上記の5項目が総合的に検討され実施されるようになり、医療機器に関するリスクマネジメントの推進役となっている。

【組織】臨床工学センターは、業務別に4つの部門から構成（図1）されており、その人員配置は図2に示すごとくである。

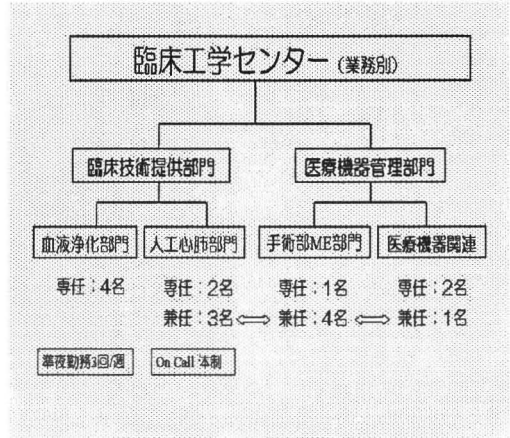


図2. 臨床工学センターの人員配置

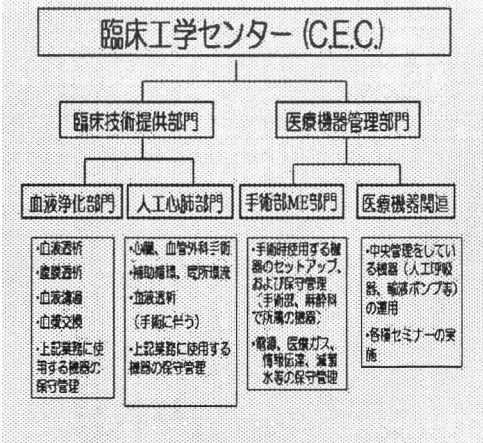


図1. 臨床工学センターの業務

これらの人員による各業務と院内の各部署との関連を図3に示す。臨床工学技士が常駐しているのは、中央手術部、人工腎臓センターであり、その他は必要に応じて出向き関連業務を行っている。

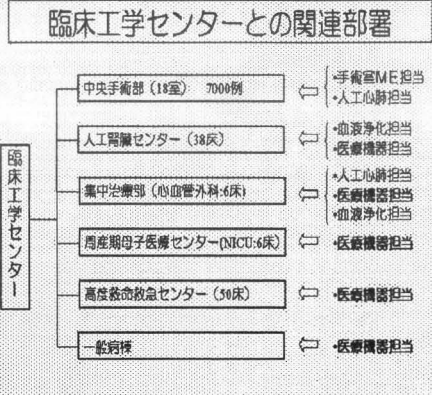


図3. 臨床工学センターと各部署の関連

【業務】このうち、人工呼吸器関連の業務を行っているのは、医療機器管理部門であり、この部門で行っている主な作業は下記の通りである。

- ① 滅菌物依頼
- ② 機器日常点検
- ③ 機器清拭・呼吸回路組み立て
- ④ 機器貸出・返却
- ⑤ 呼吸器使用中病棟巡回
- ⑥ 人工呼吸器回路交換
- ⑦ トラブル対策
- ⑧ 医療ガス交換時の確認（酸素、空気、亜酸化窒素）
- ⑨ 高気圧タンク清掃・点検
- ⑩ 各機種定期点検
- ⑪ 物品請求・修理依頼
- ⑫ 他の職種向け勉強会等、特に勉強会はリスクマネジメント対策として重要である。